

「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 北斗寮
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 河野 久忠
所在地	〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通 5-141
電話番号	0533-68-8756
F A X 番号	0533-68-8756
メールアドレス 本研修担当者	hokuto7star2000.jp@yahoo.co.jp 担当者名： 鈴木 法政
H P アドレス	http://page.freett.com/hokuto7starr
研修実施場所（所在地と異なる場合のみ記載）	〒443-0043 愛知県蒲郡市元町 9-9 (がまごおり若者サポートステーション)
設立目的（概要で可）	困難を抱える若者に対して、不登校、ひきこもり等の状況から脱却する機会を提供する。また社会的自立を援助する活動として、社会参加する上で重要な集団生活、共同作業の基礎訓練を行う場や模擬的な就業体験の場などを提供し、若者が、各人の個性に応じた社会的自立の機会を獲得することを目的とする。
職員数	全職員数 10名（常勤 5名 / 非常勤 5名）
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	当法人は、平成8年設立当初より訪問支援を行い、ひきこもり状態等の若者の社会的自立を支援しており、訪問支援から対象者を支援機関・団体へつなぐ支援のノウハウを蓄積し、支援ネットワークを構築している。 多くの場合、保護者相談から始まり、自立を目指しているがうまく支援機関を利用できていない若者への訪問支援はタイミングを囚って開始している。対象者本人への直接アプローチは、本人が安心して支援を受けられるような環境・関係作りに努め、その上で情報提供・交換を行ないながら、本人が一步を踏み出すきっかけをサポートし、必要に応じて適切な支援、機関へとつないでいく。当法人では、段階的に行なえる自立支援プログラム、また合宿型の自立支援を展開している。
機関・団体で運営している相談・支援機関名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター北斗寮
例（●●サポートステーション）	がまごおり若者サポートステーション
（●●ひきこもり地域支援センター）	

## 【2. 平成26年度中のアウトリーチの実績概要】（訪問件数、対象、支援方法等を箇条書きで記載）

- ・訪問件数：年間 150 件程度
- ・対象：ひきこもり状態の若者とその保護者、高校中退者、在籍生
- ・支援方法：  
保護者と情報の共有をし、訪問支援の有効性の判断、及びリスクマネジメントを行う。  
必要に応じて他の機関と連携して支援をする。家庭訪問は、専門スタッフ2名で実施する。  
  
学校機関と連携をし、学校へ訪問して保護者、及び生徒と面談を行う。先生と情報共有をして支援をする。

## 【3. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

（委託事業・自主事業名等やその概要について箇条書きで記載）

- ・厚生労働省認定事業 地域若者サポートステーション事業／ニート状態の若者を対象に就労支援
- ・蒲郡市委託事業 継続学習支援事業／中卒・高校中退者等の学び直し、資格取得を支援
- ・豊川市委託事業 若年者就労支援事業／就職支援セミナー・グループワーク、及び個別相談の実施
- ・蒲郡市委託事業 中学校卒業後の支援体制づくり事業／中学卒業後の進路未決定者等への相談・支援
- ・自主事業／若者自立支援（合宿型・通所型の学習・就労支援、居場所、相談・訪問支援）

等

## 【4. 過去2年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

（他機関・団体職員の研修受入を行った実施概要＜研修概要、他機関・団体名、期間、人数＞を箇条書きで記載）

- 平成25年度、26年度 内閣府「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る実地研修の受入れ  
研修内容：同行訪問、訪問に関する講義、ロールプレイング、ケース検討、居場所利用者の対応、  
等  
受入人数：法人・保健機関職員 計4名  
研修期間：2週間（25年度） 1週間（26年度）

【5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（職名）	氏 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連保有資格</li> <li>・アウトリーチの経験年数</li> </ul>
1	指導責任者 / 講義研修	河野 久忠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員免許</li> <li>・若者自立支援／訪問支援 22 年</li> </ul>
2	実施責任者 / 訪問支援	鈴木 法政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアコンサルタント</li> <li>・若者自立支援／訪問支援 14 年</li> </ul>

受 入 条 件	
受入可能な日程 （平成 27 年 9 月 28 日 ～ 平成 27 年 1 月 16 日の間）	平成 27 年 11 月 9 日（月）～11 月 13 日（金） 【研修生が遠方の場合 11 月 9 日（月）午後～ 11 月 14 日（土）午前も可】
受入可能な人数 （原則年間 4 名を 上限とする）	2 名
保有資格の要否、 その他の受入条件	特になし
研修期間中にアウトリ ーチを行う予定回数	1 名 1 回程度

研 修 内 容	
	※下記の「初日」～「最終日」までの内容は過去に実施した実地研修を参考とした 予定となり、同行訪問やプログラム等の参加・開催に併せて随時変更となります。
研修全体の概要	訪問支援について講義やロールプレイ、同行を行い、合宿型支援施設、及び 通所型支援施設にて、誘導後の支援プログラムの内容や当事者へのアプローチ 方法、また他機関との連携等の取り組みを中心に研修を実施する。
初日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・受入団体の業務内容説明、各事業運営について説明 等</li> <li>・支援者間の情報交換</li> </ul>
2 日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ（訪問支援）に関する講義、ロールプレイの実施</li> </ul>

3日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問同行① 事前：訪問支援の経過について、同行スタッフよりレクチャー 事後：訪問支援の振り返り、記録作成の補助</li> <li>・居場所にて利用者対応（声かけ等）／支援プログラム補助</li> </ul>
4日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問同行② 事前：訪問支援の経過について、同行スタッフよりレクチャー 事後：訪問支援の振り返り、記録作成の補助</li> <li>・居場所にて利用者対応（声かけ等）／支援プログラム補助</li> </ul>
最終日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者／利用者との情報交換／交流</li> <li>・訪問支援に関する事例（ケース）検討</li> <li>・実地研修の振り返り／今後の活動</li> </ul>
研修内容の配分	講義：4 演習：2 利用者対応：3 その他：1
研修生の宿泊について	研修中は、市内のホテル宿泊をお願いします。
備考欄	<p>利用者と一緒に作業やスポーツをする場合がございます。</p> <p>動きやすい服装を持参してください。</p>